

中学生がオーストラリアで国際交流 平成29年度 行方市中学生海外派遣研修



ウィングダムセントラルカレッジ

行方市中学生海外派遣研修事業は、未来を担う本市の中学生を海外に派遣し、語学研修とその国の文化、風俗、風習等に触れ、国際感覚を養うとともに、広い視野から郷土や国家・国際社会に対する理解を深めることを目的に実施され、本市発足以来、今回で11回目となります。

これまでに、合計275人の先輩たちをオーストラリアへ派遣してきました。

本年度は、8月16日から24日までの9日間、昨年度と同様にオーストラリア・メルボルンへ中学生20人を派遣。中学生は、現地受け入れ校のウィングダムセントラルカレッジで、バディ（受け入れ校でお世話をしてくれる同年代の学生）と一緒にさまざまな授業に参加しました。

■出発式代表あいさつ



麻生中学校3年
田口 桃香さん

自分から違う世界へ飛び込んでいくことは勇気のいることですが、日本では経験できないたくさんのことを経験できるよう、参加者全員で協力し、インターネットでは学べないことを吸収してきたいと思います。

また、行方市を離れることで日本の良さに気づくのではないかと思います。帰国の際には一回り成長した私たちの姿を楽しみにしてください。そしてこの体験を多くの人に伝えたいと思います。

▶研修スケジュール

- 8月16日(水)
北浦庁舎で出発式の後、成田空港からメルボルンへ
- 8月17日(木)
メルボルン市内研修（移民博物館、聖パトリック教会、ビクトリアマーケットなど）
- 8月18日(金)～22日(火)
・現地受け入れ校にて、研修や各種交流プログラム実施
・ホームステイでホストファミリーと過ごす
・お別れパーティー
- 8月23日(水)
ホストファミリーとお別れ。グレートオーシャンロード見学
- 8月24日(木)
帰国。成田空港到着後、北浦庁舎で解団式

生徒たちは、ホストファミリーのお宅に5日間ホームステイしました。

ホストファミリーと寝食を共にし、一緒にさまざまな場所へ行ったりすることで、生きた英語を学ぶことはもちろんのこと、オーストラリアの文化を実際に肌で感じ、現地の人々との交流を深めることができました。



受け入れ校のバディと、ホームステイのホストファミリー



受け入れ校主催のさよならパーティー

受け入れ校での最終日には、「さよならパーティー」が実施され、生徒たちは、日本の伝統的な遊びやソーラン節を披露。現地の生徒からは、歌のお返しをしてもらいました。パーティーにはホストファミリーも参加し、生徒たちと共に非常に盛り上がり、それぞれの家族との別れを惜しんでいました。

メルボルン市内研修では、移民博物館や歴史的な教会、マーケットなどを訪問し、オーストラリアの歴史、伝統文化、生活を学びました。

メルボルン郊外にあるグレートオーシャンロードでは、オーストラリアの大自然を体感することができました。



メルボルン市内研修とグレートオーシャンロード見学

今回の受け入れ校であるウィングムセントラルカレッジからは、先生方10人が今年4月に本市を訪問し、小・中学校を視察しました。

教育課程には日本語の授業もあり、日本語教育にも力を入れている学校です。



お別れが寂しくて泣き出してしまう生徒も



研修を通して、受け入れ校生徒と交流を図りました

9日間の研修を通して、生徒たちは一回りも二回りも成長して帰ってきました。生徒からは「つたない英語でも一生懸命話せば伝わる。自分の気持ちを伝えることができてうれしい」という感想があり、また、保護者からは「一人でホームステイさせることが心配だったが、帰国したときの表情が自信に満ちて生き生きとしていた。参加させて良かった」との声がありました。

学習指導要領の改訂に伴い、今後は小学校3年生から外国語活動が、小学校5年生から外国語が必修化されるなど、ますます英語は重要となってきます。

本市では、中学生だけでなく小学生も含めて、海外の学校と、日常の学校生活の中から積極的に交流を行っていくことで、小中学生の英語教育を推進していきます。

■解団式代表あいさつ



玉造中学校3年 井能 蘭くん

オーストラリアの学生たちはとてもフレンドリーで、勉強を熱心に教えてくれて、私の海外の人へのイメージが変わりました。

他にも多くの経験をしたのですが、それらはすべて日本で勉強しているだけでは経験できないことだと思います。

このようなすてきな機会を設けてくださった多くの方々、本当にありがとうございました。

■問い合わせ
学校教育課（北浦庁舎）
☎0291・35・2111